

プラネタリウム

冬番組 『冬のダイヤモンド』

〈内容〉
冬の夜空は、明るい1等星が多く、色々な色の星や、肉眼でも見える星雲や星団を見ることができる1年で一番美しい夜空です。
上空の空気の流れが強く星がキラキラ瞬いてみえます。



6つの1等星、おおいぬ座のシリウス、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、ふたご座のポルクス、こいぬ座のプロキオン、を結んでできる六角形を冬のダイヤモンド（冬の六角形）といいます。

また、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結んでできる3角形は冬の大三角です。

〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

天体ニュース





北の空に飛ぶこぐま座流星群に注目しよう！

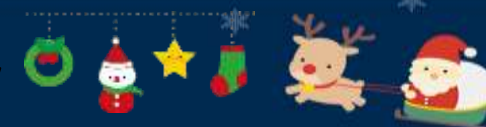
こぐま座流星群は、一晩中北の空で見ることができます。

2017年は、12月22日～23日にかけて極大を迎える予想です。

出現数は、1時間に3～5個と多くないですが放射点の高度も十分高く、月明かりの心配もまったくない好条件で楽しめます。



今月の星座紹介



【ぎょしゃ座】

ぎょしゃ座は、冬の天の川の中にある、星座全体が微星におおわれる大変美しい星座です。

1等星カペラは、21個ある1等星の中では最も北に位置し、最も長く空に輝いています。ほぼ、1年中見ることができます。

ギリシャ神話によると、アテネの王エリクトニウスの姿で、足が不自由だったため、戦車を発明し、その功績によって星座にあげられたそうです。

